

# 診療科紹介 形成外科

高松市民病院形成外科です。

当科は平成24年4月より開設し、もう少しで5年が経過します。開設当初は外来患者数や手術件数も少なかったのですが、先生方に患者さまを紹介していただき、昨年のレーザー治療を含む手術件数は659件(うちレーザー55件)(平成28年12月14日現在)と増加してきています。

開設当初は1人体制でしたが、現在は、高津州雄(平成14年卒)と釜野弥生(平成16年卒)の2人体制で診療を行っています。

形成外科は、おもに体の表面の組織欠損・変形・醜状に対する治療を行い、機能回復とQOLの向上を目的とする専門外科です。

当科で扱っている疾患・治療方針について、簡単に説明させていただきます。



## 皮膚皮下腫瘍

当科で最も多い手術になります。ホクロや粉瘤など、小さな腫瘍は可能な限り受診日に手術を行うように心がけています。

## 熱傷(やけど)

いわゆる湿潤療法による治療になりますが、過度な湿潤環境はかぶれや感染のリスクが高くなりますので、受傷早期は連日通院していただき、創部の状態を観察し、浸出液の量に合わせて適切な処置を選ぶようにしています。深くて範囲の広い熱傷では植皮などの手術も行いますが、できるだけ保存的に治療するように心がけています。

## 皮膚悪性腫瘍

まず生検を行い、診断をつけてから手術を予定しています。慎重に切除範囲を決定し、症例に応じて術中病理迅速や二期的再建を行うこともあります。生じた皮膚欠損に対する再建については整容面を重視した皮弁の選択や、欠損が大きいようであれば植皮を行っています。

## 顔面骨骨折・軟部組織損傷などの外傷

鼻骨、頬骨、眼窩などの骨折の手術やケガの治療を行っています。外来は午前中のみですが、外傷やその他受診を急ぐような時は外来に電話をいただければ、可能な限り対応させていただきます。

## ❁ 瘢痕・ケロイド

外傷や手術後のひきつれや傷痕に対して瘢痕切除やZ形成などを行っています。

また、手術での修正が難しいものに対しては、ステロイドのテープや局所注射などで治療を行っています。

## ❁ 褥瘡・難治性潰瘍

深い褥瘡に対しては壊死組織のデブリードマン、ポケットの切開、局所陰圧閉鎖療法などを行っています。

## ❁ その他

巻き爪、腋臭症（ワキガ）、眼瞼下垂など。

平成30年の新築移転時には、外来に小手術室とレーザー治療室を併設する予定です。外来と並行して手術やレーザー治療を行いやすくなり、明るい照明や吸引が必要な手術にも外来で迅速に対応できるようになると思います。地域に貢献できるようがんばりますので、これからも高松市民病院形成外科をよろしくお願いいたします。

（文責）形成外科医長  
高津 州雄

## ❁ 先天異常

副耳、埋没耳や折れ耳などの耳介変形や合指症や多指症などの手足の先天異常、臍ヘルニアなどの治療を行っています。

## ❁ あざ

当科にはV-beam、Qスイッチルビーレーザー、CO2レーザーの3台のレーザー機器を設置しており、保険診療の対象となっている単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症、太田母斑、異所性蒙古斑、扁平母斑などに対してレーザー治療を行っています。



## 地域まるごと文化祭（塩江分院）を開催しました



平成28年11月19日、5回目を迎えた塩江分院文化祭は患者家族の皆様、地元塩江町の方々など多くの来院者を迎えることができ、特に新規の消防自動車等の展示、防災グッズの紹介、ウクレレ演奏、コーラスも好評であり、盛況のうちに幕を下ろすことができました。

ひとえに患者さん、家族の皆様、小中学校、こども園、職員の皆様の御協力のおかげと存じております。

引き続き塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、住み慣れた自宅や地域で、家族の負担を軽減しながら安心して療養することができるよう診療、看護、リハ等各種訪問、指導の充実に努めてまいります。

なお、今年も文化祭を同時期に計画していますので、一度おいでください。



抹茶接待



職員の作品



塩江中学生の作品

フットケア

